

(別紙4)

令和3 年度

1 自己評価及び外

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3290400609		
法人名	社会福祉法人 星隆会		
事業所名	グループホーム 暖らん		
所在地	出雲市塩冶町南町1丁目1-37		
自己評価作成日	令和4年1月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	www.kiichigo-danran.jp/danran/
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 ワイエム
所在地	島根県出雲市今市町650
訪問調査日	令和4年4月14日

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	

部評価結果

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

木を多く使った建物の中で家庭的で、暖かい雰囲気を大事にしている。おやつや食事作り、クラフトなど創作活動、運動やゲーム(福祉レク用具を積極的に購入している)、脳トレ、回想法、音楽療法など多様な活動に参加する機会を設けて、認知症の非薬物療法として位置づけながら、楽しく心身の活気が保てるように努めている。諸活動を行うために用意したホールも活用している。季節の行事においてコロナ禍のもと可能な範囲で保育園児と交流している。根拠のあるケアの観点から、メソッドとして実績のある音楽療法としてミュージック・ケアを週に1回程度実施しており、認知症ケアとしてユマニチュードの研修に参加して事業所として取り入れ始めている。

平成17年に保育園の開所とともに発足した社会福祉法人星降会は平成28年に小規模多機能型居宅介護ホームを開所し、平成31年にグループホーム暖らんを開所した。病気や障害があっても、住み慣れた自宅や地域において自分らしく生き生きと安心と笑顔のある生活と人生を送れるよう支援していくという理念は、小規模多機能ホームからグループホームまで一貫して守られている。木材がふんだんに使われている住み心地の良いホームのそこかしこで、優しい職員に見守られている利用者さん方は、リラックスして、それぞれが、体操や散歩、食事づくりに後片付け、お掃除などに励む姿が見られる。ホームは市街の中にあって、行き交う車の喧騒が聞こえ、スーパーや衣料品店も近くにあり、毎日の食材なども買いに出ることができる。一級河川の土手に上がれば景色が開けており、神戸川の夕陽を眺めながら散歩を楽しむことができる。コロナ禍にあって制約の多いなか、利用者さんが季節を感じて楽しく暮らせるよう様々な取り組みが行われている。

、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない